

I 基本的な事項

令和元年度の事業実施にあたっては、健全な財政運営を基本に的確な収支計画を立て、共済組合制度との調整を図り、会員ニーズに対応した福利厚生事業を効果的に実施した。

資金運用にあたっては、安全性を最優先とした運用を行い、互助会資産の保全を図った。

II 一般的な事項

(1) 会員数

単位：人

区 分	平成29年度末	平成30年度末 (A)	令和元年度末 (B)	前年度比較 (B-A)
会 員 数	19,643人	19,428人	19,262人	△166

(2) 掛金

単位：円

区 分	平成29年度	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	前年度比較 (B-A)
掛 金	395,776,406	389,311,631	384,087,037	△5,224,594

エ 流動負債 未払金の主な内容

・その他会計(会館経理)…職員退職手当(17,880千円)、会館賃金等(3,238千円)、その他経費等(5,655千円)

オ 流動負債 預り金の内容

・その他会計(保険、会館)、法人 … 生命保険料預り(66,936千円)、社会保険料等預り(632千円)

(2) 会館経理 施設別貸借対照表の概要

ア アトリウム長岡

(単位:千円)

借 方				貸 方			
科 目	平成30年度 決算額A	令和元年度 決算額B	増減額 (B-A)	科 目	平成30年度 決算額A	令和元年度 決算額B	増減額 (B-A)
流動資産	18,266	6,874	△ 11,392	流動負債	9,347	5,945	△ 3,402
現金	596	94	△ 502	未払金	9,132	5,632	△ 3,500
小口現金	50	50	0	前受金	0	88	88
普通預金	12,648	5,267	△ 7,381	預り金	215	225	10
未収金	4,351	910	△ 3,441	固定負債	12,564	12,923	359
その他流動資産	621	553	△ 68	職員退職	12,564	12,923	359
固定資産	874,705	844,017	△ 30,688	負債計	21,911	18,868	△ 3,043
土地	308,692	308,692	0	正味財産の部			
建物	375,415	358,221	△ 17,194	正味財産	871,060	832,023	△ 39,037
建物付属設備	173,852	159,409	△ 14,443	当期正味財産増減額	△ 23,413	△ 39,037	△ 15,624
構築物	742	576	△ 166				
什器備品	3,440	4,196	756				
引当資産	12,564	12,923	359				
資産計	892,971	850,891	△ 42,080	計	892,971	850,891	△ 42,080

イ 高陽荘

(単位:千円)

借 方				貸 方			
科 目	平成30年度 決算額A	令和元年度 決算額B	増減額 (B-A)	科 目	平成30年度 決算額A	令和元年度 決算額B	増減額 (B-A)
流動資産	6,507	21,136	14,629	流動負債	20,807	19,643	△ 1,164
現金	129	31	△ 98	未払金	20,760	19,597	△ 1,163
小口現金	50	50	0	預り金	47	46	△ 1
普通預金	4,826	20,801	15,975				0
未収金	1,351	99	△ 1,252	固定負債	15,257	0	△ 15,257
その他流動資産	151	155	4	職員退職	15,257	0	△ 15,257
固定資産	419,731	381,301	△ 38,430	負債計	36,064	19,643	△ 16,421
土地	200,000	200,000	0	正味財産の部			
建物	151,920	146,386	△ 5,534	正味財産	390,174	382,794	△ 7,380
建物付属設備	39,115	33,832	△ 5,283	当期正味財産増減額	△ 13,677	△ 7,380	6,297
構築物	560	507	△ 53				
什器備品	448	576	128				
引当資産	27,688	0	△ 27,688				
			0				
資産計	426,238	402,437	△ 23,801	計	426,238	402,437	△ 23,801

2 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継1 公益文化)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
費用	事業費	15,004	10,307	12,217	1,910
	計	15,004	10,307	12,217	1,910
他会計振替		15,004	10,307	12,217	1,910
当期一般正味財産増減額		0	0	0	0
一般正味財産期首残高		0	0	0	0
一般正味財産期末残高		0	0	0	0
正味財産期末残		0	0	0	0

【備考】

・他会計振替＝保険経理から事業費分繰入れ

(2) 事業費内訳

単位:千円

科目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	434	427	408	△ 19
職員手当	171	169	163	△ 6
福利厚生費	117	113	92	△ 21
旅費交通費	69	69	17	△ 52
印刷製本費	23	50	47	△ 3
賃借料	16	0	0	0
普及費	132	509	139	△ 370
委託費	14,036	8,966	11,331	2,365
雑費	6	4	20	16
合計	15,004	10,307	12,217	1,910

【備考】

・委託費＝講演会及びコンサートの実施は、イベント業者へ委託して実施している。出演者の出演料を含めて委託費として支出。

(3) 実施内容

講演会	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催日		H30.9.9	R1.10.27
開催地		上越市	新潟市
開催場所		上越市文化会館	朱鷺メッセコンベンションセンター
講演者名等		武田 双雲	吉田 沙保里

コンサート	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催日	H29.8.26	H30.9.2	R1.11.4
開催地	佐渡市	新潟市	長岡市
開催場所	アミューズメント佐渡	新潟テルサ	長岡市立劇場
講演者名等	コロッケ ものまね	enra 映像パフォーマンス	シエナ・ウインド・オーケストラwith青島広志 吹奏楽

《公益文化 概要》

県内で、講演会及びコンサートを実施する。

・上越(上越)、中越(中越、魚沼)、下越(新潟、下越、佐渡)に分けて、開催地を決定する。

・講演会とコンサートは同年に同地域で開催しない。

3 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継2 パソコンソフト等贈呈)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
費用	事業費	15,130	15,215	15,149	△ 66
	計	15,130	15,215	15,149	△ 66
他会計振替		15,130	15,215	15,149	△ 66
当期一般正味財産増減額		0	0	0	0
一般正味財産期首残高		0	0	0	0
一般正味財産期末残高		0	0	0	0
正味財産期末残		0	0	0	0

※他会計振替=実施事業等会計へ事業費分繰入れ

(2) 事業費内訳

単位:千円

科目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較(B-A)
パソコンソフト等贈呈事業	14,391	14,494	14,473	△ 21
職員給料	434	427	408	△ 19
職員手当	171	169	163	△ 6
福利厚生費	118	112	92	△ 20
雑費	16	13	13	0
合計	15,130	15,215	15,149	△ 66

(3) 実施内容

地域	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上越	小学校10校	小学校10校	小学校10校
中越	小学校24校	小学校24校	小学校24校
下越	小学校26校	小学校26校	小学校26校
実施計画校数合計	60校	60校	60校
贈呈校数合計	59校	60校	60校
備考	うち1校は次年度閉校になるため、申請なし。	—	—

《パソコンソフト等贈呈事業 概要》

一年度60の学校へ、1校25万円を限度に生徒等が活用するパソコンソフト、図書及びビデオ・CD・DVD(特別支援学校及び幼稚園のみ遊具を加える)の中で希望する物品を学校が選び、贈呈する。

・上越、中越、下越に分けて、学校数の比率に応じて贈呈校数を順次決定し、小学校→中学校→高等学校等の順に決定する。

・平成10年度に事業開始、平成25年度に県内全学校に贈呈を終了。平成25年度より、2巡目の贈呈を開始している。

4 正味財産増減計算書(その他会計 他1 福利厚生)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	6,630	8,828	10,839	2,011
	受取会費	348,679	350,770	342,238	△ 8,532
	雑収益	14,093	11,171	14,286	3,115
	計	369,402	370,769	367,363	△ 3,406
費用	事業費	350,063	339,613	345,042	5,429
	計	350,063	339,613	345,042	5,429
投資有価証券評価損益等		0	34,278	△ 945	△ 35,223
当期一般正味財産増減額		19,339	65,434	21,376	△ 44,058
一般正味財産期首残高		1,912,956	1,932,295	1,997,729	65,434
一般正味財産期末残高		1,932,295	1,997,729	2,019,105	21,376
正味財産期末残		1,932,295	1,997,729	2,019,105	21,376

【備考】

- ・収益/受取会費=掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・収益/雑収益=有価証券運用益、貸付利息等
- ・費用/事業費=下記(2)給付事業+(3)その他事業+(4)事業費
- ・経常外収益について、平成30年度よりその他有価証券を保有し、時価評価を計上するため、発生。

(2) 給付事業の実績

単位:千円

科目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員弔慰金	12	6,000	12	6,000	27	13,500	15	7,500
家族弔慰金	493	10,500	532	11,920	526	12,660	△ 6	740
傷病見舞金	722	6,498	798	7,182	796	7,164	△ 2	△ 18
障害見舞金	9	890	6	620	16	1,520	10	900
災害見舞金	11	650	5	870	10	300	5	△ 570
出産見舞金	612	12,520	632	12,640	652	13,040	20	400
結婚祝金	276	8,280	332	9,960	364	10,920	32	960
入学祝金	673	6,730	635	6,350	696	6,960	61	610
療養給付金	12,831	90,858	12,460	87,814	12,478	89,735	18	1,921
介護休暇給付金	68	3,825	53	3,219	40	2,496	△ 13	△ 723
合計	15,707	146,751	15,465	146,751	15,605	158,295	140	11,544

(3) その他事業の実績

単位:千円

科目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人間ドック等助成費	9,529	21,717	8,879	20,136	7,682	17,285	△ 1,197	△ 2,851
リフレッシュ助成費	1,484	45,549	1,278	39,321	1,277	40,245	△ 1	924
供花費	10	209	9	187	18	371	9	184
直営施設宿泊助成費	1,740	4,350	1,616	4,040	1,499	3,747	△ 117	△ 293
指定宿泊施設利用助成費	503	1,006	397	794	452	904	55	110
直営施設利用助成	16,609	16,609	17,251	17,251	13,935	13,935	△ 3,316	△ 3,316
カフェテリアプラン	16,795	83,838	16,588	82,790	16,561	82,626	△ 27	△ 164
計	46,670	173,278	46,018	164,519	41,424	159,113	△ 4,594	△ 5,406

【備考】

- ・直営施設利用助成費について、平成29年度は施設の休館により利用人数が減少。令和元年度は新型コロナウイルスの影響により3月の利用人数が大幅に減少。

ア 会員退会給付金の給付状況

単位:千円

科目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員退会給付金	717	351,791	733	339,466	867	389,037	134	49,571

【備考】

- ・引当金を取り崩して支払うため、事業費には計上されない。参考に記載。

イ 貸付残高の内訳

単位:千円

科 目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活資金	118	71,493	131	86,646	146	108,665	15	22,019
住宅資金	275	272,758	240	267,521	215	284,844	△ 25	17,323
住宅災害資金	1	642	1	509	1	375	0	△ 134
災害資金	0	0	0	0	0	0	0	0
就学準備金	1	80	0	0	0	0	0	0
奨学資金	8	2,217	7	1,251	4	607	△ 3	△ 644
育児休業資金	8	3,321	10	3,508	9	2,313	△ 1	△ 1,195
自動車資金	66	64,973	149	201,251	225	321,087	76	119,836
教育資金	30	32,183	59	76,667	69	85,221	10	8,554
合計	507	447,667	597	637,353	669	803,112	72	165,759

【備考】

・平成25年度から、自動車資金及び教育資金を新設し、就学準備金及び奨学資金の新規貸付を停止

・近年の貸付事業改正に伴い、新規貸付が増加傾向。

平成30年1月～:貸付利率を大幅に引き下げ。貸付条件の変更(住宅資金の貸付限度額引き上げ、教育資金の貸付事由拡大、住宅資金及び教育資金の他金融機関等からの借換受付、団体生命信用保険制度の新設、償還猶予項目の追加、無休者への貸付取扱い変更)。

平成31年1月～:教育資金の貸付事由拡大(外国の教育機関への修学費用も可とする。)

平成31年4月～:一般貸付にボーナス償還を導入。

(4)事業費の内訳

単位:千円

科 目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	13,136	12,935	12,344	△ 591
職員手当	5,177	5,105	4,930	△ 175
福利厚生費	3,555	3,406	2,783	△ 623
通信運搬費	424	429	430	1
印刷製本費	127	0	0	0
保険料	2,821	1,382	1,733	351
委託費	2,565	2,469	2,167	△ 302
公租公課	2,205	2,769	3,222	453
雑費	24	24	25	1
合計	30,034	28,519	27,634	△ 885

【備考】

・保険料＝貸付保険事故に備える保険に加入しているもの。平成29年度まで直接保険会社と契約していたが、平成30年度から全教互貸付保険に加入したことで保険料率が下がったもの。

5 正味財産増減計算書(その他会計 他2 保険)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	事業収益	29,591	27,971	26,616	△ 1,355
	雑収益	158	139	233	94
	計	29,749	28,110	26,849	△ 1,261
費用	事業費	3,249	3,603	3,377	△ 226
	計	3,249	3,603	3,377	△ 226
他会計振替		△ 30,134	△ 25,522	△ 27,366	△ 1,844
当期一般正味財産増減額		△ 3,634	△ 1,015	△ 3,894	△ 2,879
一般正味財産期首残高		104,262	100,628	99,613	△ 1,015
一般正味財産期末残高		100,628	99,613	95,719	△ 3,894
正味財産期末残		100,628	99,613	95,719	△ 3,894

【備考】

- ・収益/事業収益=生命保険料の団体取扱いによる手数料収益
- ・他会計振替=実施事業等会計へ事業費分繰入れ

(2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較
職員給料	868	855	816	△ 39
職員手当	342	338	326	△ 12
福利厚生費	235	225	184	△ 41
委託費	17	19	16	△ 3
公租公課	1,744	2,127	1,986	△ 141
雑費	43	39	49	10
合計	3,249	3,603	3,377	△ 226

(3) 年度未取扱件数及び保険会社別手数料内訳

単位:千円

科目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
ジブラルタ生命	19	112	19	92	17	81	△ 2	△ 11
第一生命	1,042	4,975	1,008	4,561	938	4,294	△ 70	△ 267
マンライフ生命	16	71	15	67	14	65	△ 1	△ 2
富国生命	2,068	6,639	1,964	6,372	1,853	6,093	△ 111	△ 279
朝日生命	171	758	154	650	138	572	△ 16	△ 78
明治安田生命	340	1,654	311	1,541	291	1,463	△ 20	△ 78
住友生命	505	2,742	494	2,578	471	2,454	△ 23	△ 124
ブルデンシャル生命	1,744	7,674	1,756	7,475	1,747	7,246	△ 9	△ 229
アフラック生命	2,928	4,966	2,724	4,560	2,539	4,194	△ 185	△ 366
オリックス生命	0	0	60	75	60	154	0	79
合計	8,833	29,591	8,505	27,971	8,068	26,616	△ 437	△ 1,355

6 正味財産増減計算書(その他会計 他3 医療互助)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	受取入会金	62,703	59,823	56,927	△ 2,896
	雑収益	4,225	4,036	4,017	△ 19
	計	66,928	63,859	60,944	△ 2,915
費用	事業費	87,145	78,373	73,383	△ 4,990
	計	87,145	78,373	73,383	△ 4,990
当期一般正味財産増減額		△ 20,217	△ 14,514	△ 12,439	2,075
一般正味財産期首残高		618,628	598,411	583,897	△ 14,514
一般正味財産期末残高		598,411	583,897	571,458	△ 12,439
正味財産期末残		598,411	583,897	571,458	△ 12,439

【備考】

・収益／受取入会金＝加入時に一括して会費を受け取り、納入された会費は長期前受金として計上。毎年、各会員の1年分取り崩し額を受取入会金として当年度に計上する。

(2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	平成29年度		平成30年度(A)		令和元年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
医療見舞金	5,345	79,066	5,027	70,383	4,869	65,730	△ 158	△ 4,653
死亡弔慰金	3	74	7	149	4	116	△ 3	△ 33
長寿祝金	185	796	183	941	158	1,023	△ 25	82
職員給料		2,633		2,593		2,474		△ 119
職員手当		1,038		1,023		988		△ 35
福利厚生費		713		682		558		△ 124
通信運搬費		410		365		330		△ 35
印刷製本費		260		186		194		8
委託費		1,022		1,021		1,027		6
公租公課		594		546		540		△ 6
雑費		539		484		403		△ 81
合計	5,533	87,145	5,217	78,373	5,031	73,383	△ 186	△ 4,990

【備考】

・医療見舞金＝加入者数の減少に伴い、給付金額も減少しているもの。

(3) 加入者の実績

単位:人

項目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較(B-A)
新規加入者	75	91	114	23
年度末加入者	1,317	1,214	1,152	△ 62

※退職者医療互助事業は、H31.4.1加入を最後に、新規募集を停止。ただし、現加入者が退会するまで事業は継続する。

7 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 アトリウム長岡)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区分	科目	平成30年度 決算額 A	令和元年度		増減額 (B-A)	備考
			変更予算額	決算額 B		
正味財産期首残高①		894,474	871,060	871,060	△ 23,414	
収益	事業収益	136,551	124,093	127,666	△ 8,885	新型コロナに伴うキャンセルによる減
	雑収益	515	500	503	△ 12	
	取崩益	38	0	0	△ 38	
	補助金	400	0	0	△ 400	
	事業収益計②	137,504	124,593	128,169	△ 9,335	
	繰入金③	7,295	0	0	△ 7,295	
収益合計④	144,799	124,593	128,169	△ 16,630		
費用	人件費	60,625	63,488	64,640	4,015	契約職員の増によるもの
	材料費	26,569	24,577	24,771	△ 1,798	飲食売上の減に伴うもの
	営業費	48,282	45,413	44,868	△ 3,414	備品購入削減、修繕減、除雪費無し
	事業費用計⑤	135,476	133,478	134,279	△ 1,197	
	繰出金⑥	0	0	0	0	
	減価償却費⑦	32,737	32,895	32,926	189	
	費用合計⑧	168,213	166,373	167,205	△ 1,008	
減価償却前損益(②-⑤)⑨	2,028	△ 8,885	△ 6,110	△ 8,138		
当期経常増減額(④-⑧)⑩	△ 23,414	△ 41,780	△ 39,036	△ 15,622		
経常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑪	0	0	0	0	
正味財産増減額(⑩+⑪)⑫	△ 23,414	△ 41,780	△ 39,036	△ 15,622		
正味財産期末残高(①+⑫)⑬	871,060	829,280	832,024	△ 39,036		

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法人会計(一般会計)	0	0	0	0	180,649	70,350	7,295	0
累計	305,351	305,351	305,351	305,351	486,000	556,350	563,645	563,645

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宿泊	1,692	4,230	1,747	4,367	1,620	4,050	1,506	3,765
宴会	7,197	7,197	5,930	5,930	5,736	5,736	5,950	5,950
合計	8,889	11,427	7,677	10,297	7,356	9,786	7,456	9,715

※ 施設利用助成の集計期間は、前年度3月～今年度2月まで(内部取引消去額と一致させている)

(2) 施設の利用状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
利 用 人 員	宿 泊	5,037 人	5,858 人	5,420 人	(対前年 △ 438 人)
	宿 泊 利 用 率	59.1 %	68.0 %	62.7 %	(対前年 △ 5.3 %)
	会 議	28,967 人	30,013 人	26,135 人	(対前年 △ 3,878 人)
	宴 会	13,360 人	12,362 人	11,026 人	(対前年 △ 1,336 人)
	法 事	279 人	312 人	269 人	(対前年 △ 43 人)
	婚 礼	0 人	0 人	0 人	(対前年 0 人)
	グ リ ル	10,313 人	10,754 人	11,176 人	(対前年 422 人)
計		57,956 人	59,299 人	54,026 人	(対前年 △ 5,273 人)
事 業 収 益 等 の 内 訳	利用料収益	41,019 千円	46,246 千円	43,826 千円	(対前年 △ 2,420 千円)
	飲食料収益1	54,644 千円	54,531 千円	49,870 千円	(対前年 △ 4,661 千円)
	飲食料収益2	21,972 千円	20,476 千円	19,163 千円	(対前年 △ 1,313 千円)
	奉仕料収益	10,914 千円	11,171 千円	10,290 千円	(対前年 △ 881 千円)
	商品売上収益	1,692 千円	1,586 千円	1,390 千円	(対前年 △ 196 千円)
	雑 収 益	2,593 千円	2,541 千円	3,127 千円	(対前年 586 千円)
	事業収益計 ①	132,834 千円	136,551 千円	127,666 千円	(対前年 △ 8,885 千円)
	雑 収 益 ②	576 千円	515 千円	503 千円	(対前年 △ 12 千円)
	繰 入 金 ③	70,350 千円	7,295 千円	0 千円	(対前年 △ 7,295 千円)
	補 助 金 ④	240 千円	400 千円	0 千円	(対前年 △ 400 千円)
取 崩 益 ⑤	0 千円	38 千円	0 千円	(対前年 △ 38 千円)	
経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	204,000 千円	144,799 千円	128,169 千円	(対前年 △ 16,630 千円)	
事 業 費 用 等 の 内 訳	職員給料・手当	8,093 千円	5,975 千円	6,128 千円	(対前年 153 千円)
	賃 金	47,055 千円	48,774 千円	51,695 千円	(対前年 2,921 千円)
	退職給付費用	1,539 千円	0 千円	359 千円	(対前年 359 千円)
	福利厚生費	6,117 千円	5,876 千円	6,458 千円	(対前年 582 千円)
	(人件費)計 ⑦	62,804 千円	60,625 千円	64,640 千円	(対前年 4,015 千円)
	飲 食 材 料 費	17,554 千円	18,178 千円	17,134 千円	(対前年 △ 1,044 千円)
	飲 料 材 料 費	7,155 千円	7,181 千円	6,613 千円	(対前年 △ 568 千円)
	商 品 仕 入	1,229 千円	1,210 千円	1,024 千円	(対前年 △ 186 千円)
	(材料費)計 ⑧	25,938 千円	26,569 千円	24,771 千円	(対前年 △ 1,798 千円)
	旅 費	124 千円	111 千円	71 千円	(対前年 △ 40 千円)
通信運搬・印刷製本	925 千円	889 千円	932 千円	(対前年 43 千円)	
消 耗 品 費	3,668 千円	5,168 千円	3,861 千円	(対前年 △ 1,307 千円)	
光 熱 水 料	14,009 千円	14,541 千円	14,696 千円	(対前年 155 千円)	
公 租 公 課 等	10,561 千円	11,349 千円	11,604 千円	(対前年 255 千円)	
そ の 他	15,070 千円	16,224 千円	13,704 千円	(対前年 △ 2,520 千円)	
(営業費)計 ⑨	44,357 千円	48,282 千円	44,868 千円	(対前年 △ 3,414 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	133,099 千円	135,476 千円	134,279 千円	(対前年 △ 1,197 千円)	
繰 出 金 ⑪	6,258 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
償 却 費 ⑫	34,274 千円	32,737 千円	32,926 千円	(対前年 189 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	173,631 千円	168,213 千円	167,205 千円	(対前年 △ 1,008 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 265 千円	1,075 千円	△ 6,613 千円	(対前年 △ 7,688 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩) ⑮	551 千円	2,028 千円	△ 6,110 千円	(対前年 △ 8,138 千円)	
経常損益(⑥-⑬)-(⑮-⑪) ⑯	△ 33,723 千円	△ 30,709 千円	△ 39,036 千円	(対前年 △ 8,327 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	47.3%	44.4%	50.6%		
材料費売上対比率⑧÷①	19.5%	19.5%	19.4%		
営業費売上対比率⑨÷①	33.4%	35.4%	35.1%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-0.2%	0.8%	-5.2%		
経常損益比率(⑥-⑬)÷(⑮-⑪)	79.9%	81.7%	76.7%		

8 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 高陽荘)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区 分	科 目	平成30年度 決 算 額 A	令和元年度		増 減 額 (B-A)	備 考
			変更予算額	決 算 額 B		
	正味財産期首残高①	403,851	390,174	390,174	△ 13,677	
収 益	事業収益	85,995	72,239	72,234	△ 13,761	新型コロナウイルスの影響により、利用者激減。
	雑収益	419	407	414	△ 5	
	取崩益	0			0	
	補助金	0			0	
	事業収益計②	86,414	72,646	72,648	△ 13,766	
	繰入金③	0	0	6,802	6,802	
	収益合計④	86,414	72,646	79,450	△ 6,964	
費 用	人件費	31,652	25,495	25,923	△ 5,729	
	材料費	39,564	32,900	32,741	△ 6,823	
	営業費	16,864	17,372	17,017	153	消費税増税分
	事業費用計⑤	88,080	75,767	75,681	△ 12,399	
	繰出金⑥	867	600	0	△ 867	
	減価償却費⑦	11,144	11,148	11,148	4	
	費用合計⑧	100,091	87,515	86,829	△ 13,262	
	減価償却前損益(②-⑤)⑨	△ 1,666	△ 3,121	△ 3,033	△ 1,367	
	当期経常増減額(④-⑧)⑩	△ 13,677	△ 14,869	△ 7,379	6,298	
経 常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑪	0	0	0	0	
	正味財産増減額(⑩+⑪)⑫	△ 13,677	△ 14,869	△ 7,379	6,298	
	正味財産期末残高(①+⑫)⑬	390,174	375,305	382,795	△ 7,379	

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法人会計(一般会計)	0	9,586	0	0	2,484	56,144	0	6,802
累計	390,303	399,889	399,889	399,889	402,373	458,517	458,517	465,319

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宴会	12,106	12,106	10,840	10,609	11,515	11,515	7,985	7,985
合計	12,106	12,106	10,840	10,609	11,515	11,515	7,985	7,985

※ 施設利用助成の集計期間は、前年度3月～今年度2月まで(内部取引消去額と一致させている)

(2) 施設の利用状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
利 用 人 員	宿 泊	人	人	人	(対前年 0 人)
	宿 泊 利 用 率	%	%	%	(対前年 0.0 %)
	会 議	20,779 人	23,930 人	20,635 人	(対前年 △ 3,295 人)
	宴 会	13,313 人	13,801 人	11,940 人	(対前年 △ 1,861 人)
	法 事	8 人	57 人	13 人	(対前年 △ 44 人)
	婚 礼	人	人	人	(対前年 0 人)
	グ リ ル	人	人	人	(対前年 0 人)
計		34,100 人	37,788 人	32,588 人	(対前年 △ 5,200 人)
事 業 収 益 等 の 内 訳	利用料収益	11,139 千円	13,298 千円	12,058 千円	(対前年 △ 1,240 千円)
	飲食料収益1	40,504 千円	42,670 千円	34,722 千円	(対前年 △ 7,948 千円)
	飲食料収益2	18,750 千円	20,326 千円	17,010 千円	(対前年 △ 3,316 千円)
	奉仕料収益	7,048 千円	7,631 千円	6,374 千円	(対前年 △ 1,257 千円)
	商品売上収益	1,330 千円	1,429 千円	1,311 千円	(対前年 △ 118 千円)
	雑 収 益	618 千円	641 千円	759 千円	(対前年 118 千円)
	事業収益計 ①	79,389 千円	85,995 千円	72,234 千円	(対前年 △ 13,761 千円)
	雑 収 益 ②	364 千円	419 千円	414 千円	(対前年 △ 5 千円)
	繰 入 金 ③	56,144 千円	0 千円	6,802 千円	(対前年 6,802 千円)
	補 助 金 ④	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
取 崩 益 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	135,897 千円	86,414 千円	79,450 千円	(対前年 △ 6,964 千円)	
事 業 費 用 等 の 内 訳	職員給料・手当	11,419 千円	11,464 千円	6,096 千円	(対前年 △ 5,368 千円)
	賃 金	12,190 千円	13,107 千円	14,783 千円	(対前年 1,676 千円)
	退職給付費用	1,015 千円	4,212 千円	2,623 千円	(対前年 △ 1,589 千円)
	福 利 厚 生 費	2,694 千円	2,869 千円	2,421 千円	(対前年 △ 448 千円)
	(人件費)計 ⑦	27,318 千円	31,652 千円	25,923 千円	(対前年 △ 5,729 千円)
	飲 食 材 料 費	29,980 千円	31,518 千円	25,733 千円	(対前年 △ 5,785 千円)
	飲 料 材 料 費	6,358 千円	6,995 千円	6,024 千円	(対前年 △ 971 千円)
	商 品 仕 入	1,011 千円	1,051 千円	984 千円	(対前年 △ 67 千円)
	(材料費)計 ⑧	37,349 千円	39,564 千円	32,741 千円	(対前年 △ 6,823 千円)
	旅 費	10 千円	26 千円	13 千円	(対前年 △ 13 千円)
	通信運搬・印刷製本	616 千円	668 千円	690 千円	(対前年 22 千円)
	消 耗 品 費	888 千円	757 千円	864 千円	(対前年 107 千円)
	光 熱 水 料	3,173 千円	3,414 千円	3,226 千円	(対前年 △ 188 千円)
公 租 公 課 等	3,087 千円	3,510 千円	3,813 千円	(対前年 303 千円)	
そ の 他	8,668 千円	8,489 千円	8,411 千円	(対前年 △ 78 千円)	
(営業費)計 ⑨	16,442 千円	16,864 千円	17,017 千円	(対前年 153 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	81,109 千円	88,080 千円	75,681 千円	(対前年 △ 12,399 千円)	
繰 出 金 ⑪	3,262 千円	867 千円	0 千円	(対前年 △ 867 千円)	
償 却 費 ⑫	10,278 千円	11,144 千円	11,148 千円	(対前年 4 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	94,649 千円	100,091 千円	86,829 千円	(対前年 △ 13,262 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 1,720 千円	△ 2,085 千円	△ 3,447 千円	(対前年 △ 1,362 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩) ⑮	△ 1,356 千円	△ 1,666 千円	△ 3,033 千円	(対前年 △ 1,367 千円)	
経常損益(⑥-⑬)-(⑮-⑪) ⑯	△ 11,634 千円	△ 12,810 千円	△ 14,181 千円	(対前年 △ 1,371 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	34.4%	36.8%	35.9%		
材料費売上対比率⑧÷①	47.0%	46.0%	45.3%		
営業費売上対比率⑨÷①	20.7%	19.6%	23.6%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-2.2%	-2.4%	-4.8%		
経常損益比率(⑥-⑬)÷(⑯-⑪)	87.3%	87.1%	83.7%		

9 正味財産増減計算書(法人会計)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額 A	令和元年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	610	924	953	29
	受取会費	47,097	38,542	41,849	3,307
	雑収益	2,000	100	723	623
	繰入額	9,519	867	0	△ 867
	計	59,226	40,433	43,525	3,092
費用	管理費	35,588	37,404	42,192	4,788
	繰出額	126,494	7,295	6,802	△ 493
	計	162,082	44,699	48,994	4,295
当期一般正味財産増減額		△ 102,856	△ 4,266	△ 5,469	△ 1,203
一般正味財産期首残高		547,628	444,772	440,506	△ 4,266
一般正味財産期末残高		444,772	440,506	435,037	△ 5,469
正味財産期末残		444,772	440,506	435,037	△ 5,469

【備考】

- ・収益／受取会費＝掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・収益／繰入額、費用／繰出額＝会計間の資金の移動があった場合に計上。H29～R11は、法人会計と会館経理の資金移動。

(2) 管理費の内訳

単位:千円

科目	平成29年度	平成30年度(A)	令和元年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	10,503	10,343	9,870	△ 473
職員手当	4,139	4,081	3,942	△ 139
退職給付費用	144	116	142	26
福利厚生費	2,843	2,723	2,225	△ 498
職員旅費	552	446	400	△ 46
会議費	382	425	496	71
通信運搬費	1,343	1,392	1,214	△ 178
消耗品費	1,457	1,522	1,487	△ 35
印刷製本費	1,585	1,320	1,358	38
研修費	92	0	0	0
委託費	5,042	4,140	4,641	501
賃借料	704	649	897	248
負担金	922	922	880	△ 42
公租公課	848	2,660	7,421	4,761
支払寄付金	500	500	500	0
減価償却費	4,257	6,059	6,059	0
雑費	275	106	660	554
合計	35,588	37,404	42,192	4,788

【備考】

- ・公租公課＝消費税、資産運用益にかかる源泉税。
- ・R元年度は、一昨年、前年の会館工事に係り前年度の納付消費税が少なかったため、今年度の支払いが増加したものの。
- ・雑費＝R元年度にPCB廃棄物を廃棄処理したため増加したものの。